

令和 6 年度 学校評価書 (計画段階)

福岡県立 福岡農業 高等学校

55

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p>「将来の福岡県の産業を支える人材を育成する学校」 農業科…都市近郊の広大な土地を生かした農業実習、最先端の農業技術・時代の変化に応じた農業経営などの学習を通して、福岡県の農業や農業関連産業をけん引する次世代のリーダーを育成します。 家庭科…豊かな心を持ち、確かな知識と技術を身に付けた衣食住、保育や介護等のヒューマンサービスに関わる生活産業のスペシャリストを育成します。</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p>	<p>農業科 ・農業、食品に関する専門的な知識や技能を身に付け、活用できる力を育成する。 ・コミュニケーション能力を磨き、他者と協働し、地域農業に貢献できる力を育成する。 ・進路の幅を広げる多様な資格を取得できる力を育成する。 家庭科 ・人間の生活を支える生活産業に関する専門的な知識や技術を習得する。 ・進路の幅を広げる多彩な資格を取得できる力の育成。 ・持続可能な社会の構築の視点を持ち、生活産業に関する事象の課題を発見し、創造的に解決できる力を育成する。</p>
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p>	<p>農業科 ・地域社会との連携活動を通して、深い学びと教育活動を展開する。 ・専攻科と連携した5年間の教育活動を展開する。 ・類型選択で、より専門的な学習を展開する。 ・教科横断的なカリキュラム編成をする。 ・外部講師を招聘し、実践的な知識、技能を習得する教育活動を展開する。 家庭科 ・地域連携や外部講師招聘による講義や実習を通して、実践的な知識、技術を習得する。 ・資格取得に積極的にチャレンジできる授業を展開する。 ・農業科との教科横断的なカリキュラム編成する。 ・類型選択で、より専門的な学習を展開する</p>
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p>	<p>農業科 ・農業や食品に興味がある人。 ・農業経営者、農業関連産業で働きたい人。 ・企業との商品開発に携わりたい人。 ・農学部や農業関連学部に進学したい人。 ・就職と進学から幅広く進路選択をしたい人。 ・学業と部活動を両立させ、進路決定に繋げたい人。 家庭科 ・栄養士や調理師、ファッション、保育、福祉、ウエディング関連の仕事に興味がある人。 ・食、服飾、保育、介護、関連大学への進学をしたい人。 ・就職と進学から幅広く進路選択をしたい人。 ・学業と部活動を両立させ進路決定に繋げたい人。</p>

様式3

学校運営計画(4月)				
学校運営方針		年度重点目標	具体的目標	評価(総合)
昨年度の成果と課題				
<p>【令和5年度の成果】</p> <p>1 職員間の情報共有や授業において、ICTの活用が概ね計画の通り実施することができた。 また、新学習指導要領に対応した指導と評価の一体化や観点別評価の考え方などについて、理解を深めることができた。</p> <p>2 各学年の到達状況を踏まえたキャリア教育を実施することができた。 また、学年および各部が連携し、3年生全員の進路を決定することができた。</p> <p>3 インスタグラムを利用した広報活動を活発に行うことができた。これにより、日々の授業風景を素早く発信することで、効果的な広報ツールとなっている。</p> <p>【令和5年度の課題】</p> <p>1 ICTの活用能力の個人差が大きくなっている。教科・科目を越えた授業研究を通して、職員個々の指導スキルを高め、効果的な授業改善に繋げる。</p> <p>2 積極的な生徒指導を通して、自主性、積極性を育み、チャレンジ精神と主体性を持った生徒を育成する。</p> <p>3 農業クラブ、家庭クラブをはじめとした専門性を生かせる教育活動を充実させることで生徒の専門性、自尊心を高め、主体的に進路決定ができる力を育成する。</p>		<p>教科横断的な視点で授業改善に取り組み、主体的、対話的で深い学びに繋がる学習環境の構築を図る。</p>	<p>ICTを効果的に取り入れ、個別最適な授業づくりに取り組むとともに教科間の連携を図り、主体的に学ぶ意欲を喚起する。研究授業をはじめ、OJTを通して指導力の向上を図る。</p>	
		<p>3年間を見据えたキャリア教育計画の充実を図り、生徒の多様な進路実現に向け、組織的な指導を行う。</p>	<p>3年間のキャリア教育計画を全職員で共有する。生徒個々のキャリアパスポートを基に、多様な進路希望に対応した指導を組織的かつ体系的に行う。</p>	
		<p>地域との連携や学校開放活動を通して、本校の魅力を発信し、地域社会の活性化と意欲ある入学志願者の獲得を図る。</p>	<p>ホームページとインスタグラムによる情報発信を活発に行うことで、中学生、保護者、地域に教育活動を発信する。年間3回の中学校訪問を行う。体験入学の内容の改善を図る。</p>	
		<p>資格取得や農業・家庭クラブにおける教育活動を活発化させるとともに専攻科との連携を図り農業教育の充実を図る。(生徒の自尊心とチャレンジ精神を育てる)</p>	<p>農業に関する3学科と専攻科との連携を推進し、プロジェクト学習等の充実を図る。生活デザイン科(家庭科)における学習活動の成果を積極的に発信する。</p>	
		<p>社会の変化に対応し、地域に必要とされる学校づくりを推進する。</p>	<p>各学科の特性を活かした連携活動を効果的かつ合理的に推進する。学科間の情報共有や連携機能を高めるため、定期的な学科主任会議を行う。</p>	
		<p>人権教育、道徳教育の充実を図り、いじめや差別を許さない人権感覚と豊かな人間性を持った生徒を育成する。</p>	<p>いじめの早期発見、未然防止や生徒の人権感覚の向上を図るため、人権教育並びに道徳教育の充実を図る。SNSによる生徒間トラブル防止に向けた情報リテラシー教育の充実を図る。支援が必要な生徒の情報を共有し、定期的なケース会議を通して組織的対応を行う。</p>	
評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート(外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート(外部アンケート等)の結果等
教務部	一人一台端末の利用を推進し、各種アンケートを実施し授業改善に取り組む	<p>新入生アンケートを実施し、生徒情報を職員間で共有し、学習指導に生かす。</p> <p>生徒自ら学期の学習を振り返る日ユウカリDay(学期の振り返り日を設定する。</p> <p>生徒による授業評価を行い、授業改善に活用する。</p>	<p>・新入生アンケート</p> <p>・学期の振り返りアンケート</p> <p>・授業評価アンケート</p>	
		<p>中学校等との連携及び目的意識を持った生徒募集を推進する</p> <p>中学校教員対象及び塾対象学校説明会を実施し、生徒募集に繋げる。</p> <p>中学生対象の福農ツアー(学校見学会)、体験入学を実施し、生徒募集に繋げる。</p>	<p>・福農ツアー参加者アンケート</p> <p>・体験入学アンケート</p> <p>・中学校対象学校説明会アンケート</p> <p>・塾対象学校説明会アンケート</p>	
	職員に研修参加を促すことで、資質・能力の向上を目指す	<p>研究授業週間において「ICT機器活用」をテーマにした研究授業を実施する</p> <p>若年・中堅教員を中心に校外研修への参加を促すことで資質を向上させる</p> <p>教育センター指導主事等に研修を依頼する</p>	無し	
		<p>他校との交流を通して、学校図書を活活化させる</p> <p>朝読書の時間を充実させることで読書を習慣化させる</p> <p>ユウカリ祭において図書活動をアピールし、地域交流を目指す</p>	「学校図書の充実に関するアンケート」	

様式3

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
生徒 育成部	生徒指導	生徒指導における諸課題の的確な把握と職員間の情報共有の徹底	心とからだのチェックリスト【年3回】及び教育相談週間【年2回】の実施 生徒支援委員会での生徒情報の共有【月1回】 関係機関と連携した職員研修等の実施【年3回以上】	・いじめアンケート ・いじめ保護者アンケート ・心とからだのチェックリスト
		自己指導能力の向上を目指した集団活動の展開	部活動加入率の向上に向けた仮入部期間の設定【入部率80%以上】 生徒による積極的な学校行事の企画・運営【年4回以上】 生徒会による地域活動への積極的な参加【年1回以上】	・学校生活アンケート ・各学校行事の振り返りアンケート
生徒 育成部	保健・環境	自らの心身の健康に関心を持ち、自己管理できる能力の育成を図る。	スクールカウンセラー事業を充実させ、早期に生徒支援できる体制を整える。 心理教育を実施し、ヘルスプロモーションの啓発に努める。 生徒保健委員会活動の活性化を図る。	「エンカウンター実施後のアンケート」
		環境美化意識を高め、人間力の向上を図る。	定期的に美化コンクールを実施する。 環境美化委員会活動の活性化と充実を図る。 清掃用具の点検及び補充を行い、環境を整える。	「美化コンクール実施後のアンケート」
キャリア 教育部	進路指導	3年生の進路実現100%実現	就職希望者に対する面接指導を3学年団、進路指導課、管理職と連携し年5回以上実施する。 学科の特色を活かした4年制大学、短期大学への進学者を30名以上目指すため、専門高校の推薦枠や指定校推薦を有効に活用できるように迅速な情報提供を行う。 3学年、旧3学年、進路指導課で企業訪問等を実施し、生徒の希望する就職の実現を図る。	「就職率・進学率のデータ」
		学年に応じた進路指導の充実	各学年の実態に応じた進路ガイダンスを実施する。 定期的な会議等を実施し、各学年主任との連携を強化する。 保護者会での個別相談、2年次1月の希望者に対する面談を計画・実施する。	「ガイダンス実施後のアンケート」
	人権・同和教育推進	各分掌や学年との情報共有及び情報交換の徹底する。	気になる生徒の抽出と個別対応をケース会議として育成部と連携を図る。 生徒支援委員会において、生徒情報の共有を図る。 外部研修会の案内及び情報提供を重ね自己研鑽の環境を提供する。	生徒育成部「いじめアンケート」「いじめ早期発見家庭用チェックリスト」「学校生活アンケート」参照
		人権同和教育HRを中心に、全職員で生徒の人権意識高揚を図る。	事前の指導案の検討や学習会の開催、事後の生徒の状況把握に努める。 人権同和教育HRの内容を充実させる。 生徒の人権意識の向上を目指す。	生徒育成部「いじめアンケート」「いじめ早期発見家庭用チェックリスト」「学校生活アンケート」参照
職業教育	スクールアクションプランに基づき、後継者育成と農業理解者の育成に努める。	スクールアクションプランを活用し、後継者育成を図る。 GAP教育やHACCP教育による専門教育の充実を図る。 農業DXIに伴う授業内容の充実・精選と、農業クラブ各種競技大会への積極参加を図り授業を充実させる。	「未来を切り拓く人材育成事業授業後アンケート」を年度末に調査	
	各教科指導の中にワンヘルス教育を位置付け、ワンヘルスの視点で指導する。	ワンヘルスの理念を各授業内に取り入れ、ワンヘルス教育の充実を図る。 人と動物の健康を一つと考え、授業の柱の一つとして各授業内容を充実させる。 授業内容の変更ではなく視点の変更で授業を計画し、年間指導計画にワンヘルスに関する指導内容を明記する。	該当科目の該当単元「授業実施前・後アンケート」	
企画 広報部	企画広報	各学校行事やPTA活動の内容の充実と円滑な運営	各部と早期に連携を取り、各行事の実施要項を立案し実施する。 月行事の早期の把握と調整を行う。 PTA活動の充実を図るため、PTA役員との確実な打ち合わせを行う。	
		保護者や同窓会、中学校との信頼関係の構築	学校案内、PTA新聞「なのみ」、学校新聞「耕」の内容を充実させ、生徒の校内外での活動を伝える。 中が校一日体験入学・中学校PTA視察の円滑な運営を行う。	「学校行事振り返りアンケート」 「1日体験入学後のアンケート」

様式3

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等	
学年	1 学年	集団の一員として、周囲に気配りができる生徒を育成する。	面談を年に3回以上実施し、各学科、保護者、保健室との連携を図る。 学年の仲間意識を高めるため、学年通信を8回以上発行する。 学年行事等を通して、他者と協働する態度を身に付けさせる。	「学校行事振り返りアンケート」等	
		将来を見通し、進路実現に向けた目標設定ができる生徒を育成する。	時間を守る、挨拶をする等、基本的な生活習慣を身に付けさせる。 総合的な探究の時間を活かし、将来への展望を持つように促す。 将来について考え、見通しをもって行動する態度を育成する。	「学校行事振り返りアンケート」等	
	2 学年	各行事の中での役割を自覚し、行動できる生徒の育成	生徒各々の個性を発揮する場所を自ら見つけ、輝ける場面をつくれるような取り組みを行う。 何事にも積極的に取り組んでいけるように指導する。 後輩のお手本となるような行動や言動となるように日常生活より意識させる。	「学校行事振り返りアンケート」等	
		集団の中での自他の在り方や接し方を大切にす態度の育成	学年、科への帰属意識を強め、集団で一つの目標に向かって努力する意識を持たせる。 日々の学校生活から自己や他人を思いやれるような在り方や接し方を意識させる。 集団内での自分の存在意義等を確実に知り、他者の価値観も受け入れるように日頃より指導する。	「学校行事振り返りアンケート」等	
	3 学年	生徒全員の希望進路を実現する。	日常的に言動や身だしなみに対する意識を高めさせ、社会に出る準備を整えさせる。 面談を3回以上実施し、進路指導課、各学科、保護者との連携を図る。	「就職率・進学率のデータ」等	
		生徒全員で学校行事に携わり、成功を目指す。	生徒各々の個性を発揮できる場所を自ら見つけ、リーダー・フォロワーそれぞれの役割をしっかりとこなせるように指導を行う。 行事ごとにアンケートを実施し、自身で振り返る機会を作る。	「学校行事振り返りアンケート」等	
学科	都市園芸科	農業高校としての学習内容の充実と学科の特色ある取組	「野菜」・「草花」・「果樹」を分けることで、専門性を深める学習を行う プロフェームを利用した学習展開を考え、取得したデータを授業で活用する 近隣の幼稚園や小学校との交流を通して、生徒の主体性を伸ばす	「都市園芸科振り返りアンケート」	
		キャリア教育を重視した学習内容の充実	社会人招聘授業を実施し自身のキャリアアップにつながる考えを持たせる 生徒自らが積極的に資格取得ができるように指導を行っていく。 農販会だけではなく行事への積極的な参加から地域に必要とされる学校を目指す	「都市園芸科振り返りアンケート」	
	環境活用科	学科の学習内容の充実と学習意欲の向上を図るためのキャリア教育を行う。	専門的な学習をとおして、課題研究及び農業クラブ活動、各種競技等に対して自ら学ぶ姿勢を養う。 中学生に対して、生徒募集に繋げるような取組を行う。 生徒が主体的に地域との交流事業を運営することにより職業意識の向上およびキャリアアップを目指す。	「環境活用科振り返りアンケート」	
		学科の特色を活かした資格取得と進路実現に向けた指導を行う。	専門性を活かした大学等の進学及び就職についての進路指導を行う。 生徒自らが積極的に資格取得ができるように指導を行う。	「就職率・進学率・資格取得率」等	
	食品科学科	ICT機器を活用した地域社会との連携、ニーズに対応できる人材の育成	ICT機器を活用し地域及び異校種間交流事業を行い、コミュニケーション能力および主体性を高める。 生徒が主体的に交流事業を運営することで職業意識の向上およびキャリアアップを目指す。 学科の特性を活かし、将来活躍できる職業人を育成する。	「食品科学科振り返りアンケート」	
		キャリア教育及び資格取得の推進、特色ある取組の外部発信	生徒主体の学科集会を行い自主性を醸成する。 外部講師による指導や関係する資格取得の体制を整え、キャリア教育の推進を図る。 特色ある専門教育の授業等をホームページやSNS等を積極的に活用し、平日の取り組みを発信する。	「食品科学科振り返りアンケート」	
	生活デザイン科	専門学科としての学習内容の充実と特色ある取り組みの積極的発信	社会人招聘事業の活用や校外実習、技術検定の取得等により、専門的な技術向上につなげ職業観の育成を図る。 ICT機器を活用した主体的・対話的学習の充実と、ホームページやインスタグラムを利用した積極的な情報発信を行う。	「学科満足度アンケート」等	
		学科間連携の推進と地域貢献に重点を置いた活動	他学科との連携や地域資産の活用により課題解決能力を高める 地域活動への積極的な参加を行い、地域に貢献できる生徒の育成を目指す 家庭クラブ活動をおとしてリーダーシップの育成を図る	「行事・活動の振り返りアンケート」等	